

Best Available Copy

ELECTROSTATIC TYPE LIQUID CLEANING-UP DEVICE

Patent number:	JP59193163
Publication date:	1984-11-01
Inventor:	KAYAMA MASAAKI
Applicant:	MATSUSHITA DENKI SANGYO KK
Classification:	
- International:	B03C5/02
european:	
Application number:	JP19840064060 19840330
Priority number(s):	

Abstract of JP59193163

PURPOSE: To decrease the leak current between electrodes as far as possible by interposing grid-like dust collecting bodies between the electrodes and specifying the space between the parallel parts of said dust collecting bodies and electrodes and the space between the orthogonal parts thereof.

CONSTITUTION: Dust collecting bodies 12 are provided between electrodes 11 at the spaces set at (a)<(b) where the space between the parallel parts 12a of the grid-like bodies 12 and the electrodes 11 is designated as (a) and the space between the orthogonal parts 12b as (b). Then, even if the electric resistance of the bodies 12 decreases as a result of the capturing moisture, the number of the orthogonal parts in contact with the electrodes 11 is small and the sectional passage of the current is small and therefore the leak current is correspondingly decreased.

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭59-193163

⑫ Int. Cl.³
B 65 D 47/44
83/00

識別記号

府内整理番号
8208-3E
7617-3E

⑬ 公開 昭和59年(1984)12月21日

審査請求 有

(全 3 頁)

⑭ コールドバーマ用薬液塗布器

名古屋市千種区千種 1 丁目13番
16号

⑮ 実 願 昭58-88247

⑯ 出 願 昭58(1983)6月9日

名古屋市千種区千種 1 丁目13番
16号

⑰ 考 案 者 加藤裕三

⑲ 実用新案登録請求の範囲

合成樹脂製等の可撓性容器 4 と、該可撓性容器 4 の口縁部 5 に嵌脱自在に形成された合成樹脂製等の大筒 6 と、該大筒 6 の上部に一体に形成された部分的な堰 7 および部分的な切欠部 8 を有する小筒 9 からなる第 1 キヤップ 10 と、前記小筒 9 の内周部 11 に回動かつ摺動自在に嵌装された部分的な切欠部 12 を有し、かつ上部を閉ざした合成樹脂製等の回摺動筒 13 と、該回摺動筒 13 の外周部に該回摺動筒 13 と一緒に形成された先細穴付突起 14 および広口穴付突起 15 と、前記広口穴付突起 15 の内孔にフェルトまたはスポンジ等の多孔性物質 16 を充填してなる第 2 キヤップ 17 とで構成したことを特徴とするコールドバーマ用薬液塗布器。

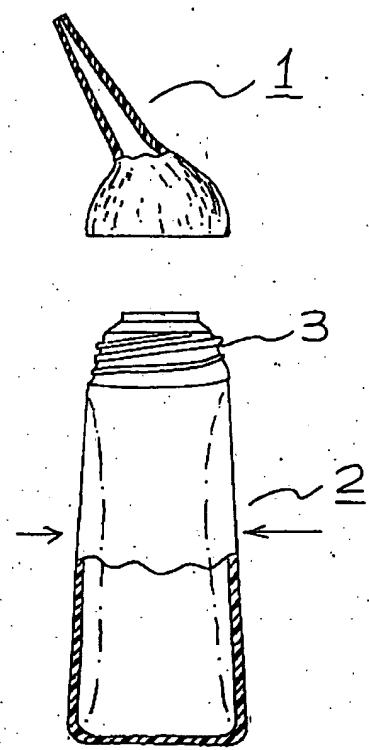
図面の簡単な説明

第 1 図は従来のコールドバーマ用薬液塗布器の

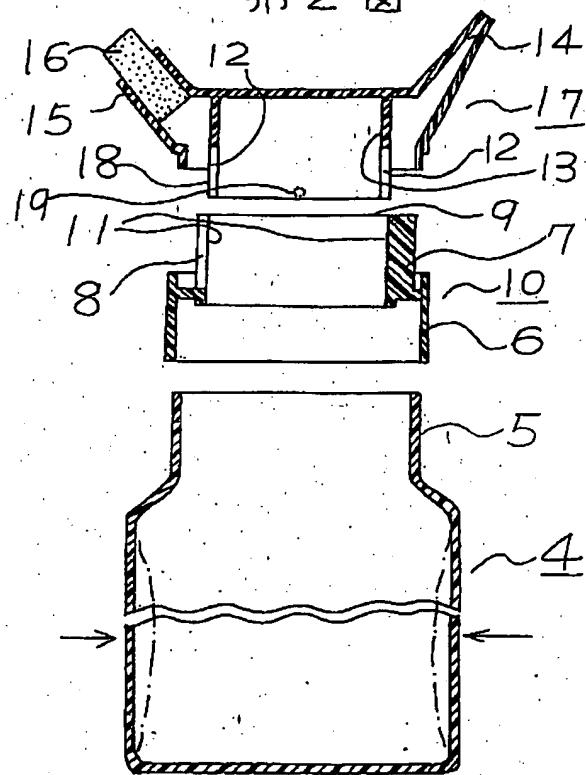
1 部を断面とした分解斜視図、第 2 図ないし第 4 図は本考案のコールドバーマ用薬液塗布器の一実施例で、第 2 図は分解縦断面図、第 3 図は第 2 図の組立縦断面図、第 4 図は第 3 図の変形（回動、摺動）例の縦断面図である。

符号の説明、1 ……先細穴付突起付キヤップ、
2 ……ネジ付可撓性容器、3 ……ネジ、4 ……合成樹脂製等の可撓性容器、5 ……口縁部、6 ……大筒、7 ……堰（せき）、8、12 ……切欠部、
9 ……小筒、10 ……第 1 キヤップ、11 ……内周部、13 ……回摺動筒、14 ……先細穴付突起、
15 ……広口穴付突起、16 ……フェルトまたは
スポンジ等の多孔性物質、17 ……第 2 キヤップ、
18 ……第 1 キヤップ 10 に形成された小筒 9 の内周部 11 と回動かつ相摺動する外周部、19 ……円形等の突起（第 1 キヤップ 10 と第 2 キヤップ 17 の位置ずれ防止用および嵌抜防止用突起）。

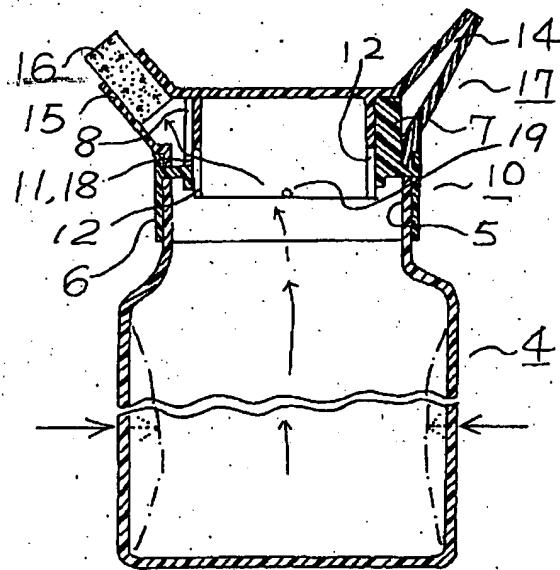
第1図



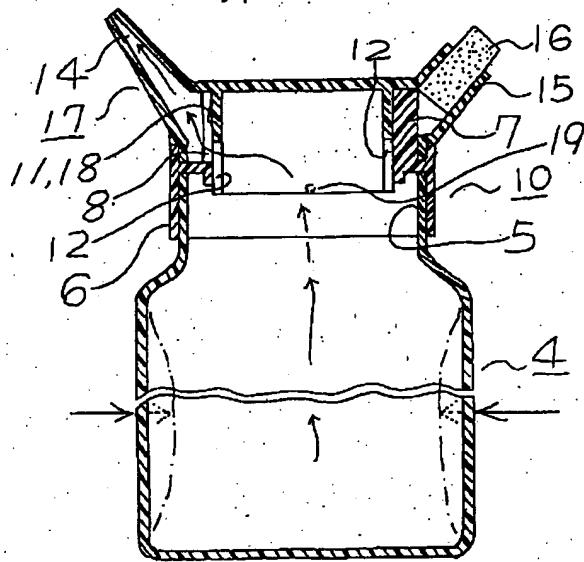
第2図



第3図



第4図



公開実用 昭和59—

193163

19 日本国特許庁 (JP)

11 実用新案出願公開

12 公開実用新案公報 (U)

昭59—193163

51 Int. Cl.³
B 65 D 47 44
83 00

識別記号 庁内整理番号
8208-3E
7617-3E

43 公開 昭和59年(1984)12月21日

審査請求 有

(全 頁)

54 コールドバーマ用薬液塗布器

名古屋市千種区千種1丁目13番
16号

21 実 願 昭58-88247
22 出 願 昭58(1983)6月9日
72 考 案 者 加藤裕三

71 出 願 人 加藤裕三
名古屋市千種区千種1丁目13番
16号

明細書

1. 考案の名称

コールドパー用薬液塗布器

2. 実用新案登録請求の範囲

合成樹脂製等の可撓性容器4と；該可撓性容器4の口縁部5に嵌脱自在に形成された合成樹脂製等の大筒6と，該大筒6の上部に一体に形成された部分的な堰7および部分的な切欠部8を有する小筒9からなる第1キャップ10と；前記小筒9の内周部11に回動かつ摺動自在に装着された部分的な切欠部12を有し，かつ上部を開ざした合成樹脂製等の回摺動筒13と，該回摺動筒13の外周部に該回摺動筒13と一体に形成された先細穴付突起14および広口穴付突起15と，前記広口穴付突起15の内孔にフエルトまたはスポンジ等の多孔性物質16を充填してなる第2キャップ17とで構成したことを特徴とするコールドパー用薬液塗布器。

3. 考案の詳細な説明

本考案は，コールドパーをかける際に使用す

る薬液塗布器の改良に関するものである。

従来、この種の塗布器は、第1図に示すように、先端が円錐状で、直径0.5mm程度の穴が設けられている、いわゆる先細穴付突起付キャップ1を可撓性容器2の口縁部とをネジ3にて着脱自在化して用いる合成樹脂製のものである。

したがって、この先細穴付突起付キャップ1のみを用いたのでは、薬液を塗布する時に、容器2の押圧により、薬液が柱状に流出(噴出)して、塗布液の量も必然的に多くなり不経済となる。

また、このため、すでにウエーブ(カーリ)がついていて、薬液を塗布したくない部分まで薬液が塗布されてしまう。特に、ヤマガカカツてしない毛髪の根本部に薬液を塗布する際、前記先細穴付突起が薬液を勢よく柱状に噴出(流出)したのでは、過剰の薬液が頭皮および顔面に滴下あるいは流下し、このために「かゆみ」あるいは「かぶれ」を生じるという欠点があつた。

本考案の目的は、この欠点を解消するためになされたもので、今、その一実施例を説明すれば、

合成樹脂製等の可挠性容器4と；該可挠性容器4の口縁部5に嵌脱自在に形成された合成樹脂製等の大筒6と，該大筒6の上部に一体に形成された部分的な堰(せき)アドおよび部分的な切欠部8とを有する小筒9からなる第1キャップ10と；前記小筒9の内周部11に回動かつ摺動自在に装嵌された部分的な切欠部12を有し，かつ上部を開ざした合成樹脂製等の回摺動筒13と，該回摺動筒13の外周部に該回摺動筒13と一体に形成された先細穴付突起14および広口穴付突起15と，前記広口穴付突起15の内孔にフェルトまたはスポンジ等の多孔性物質16を充填してなる第2キャップ17とで構成したことを特徴とするコールドパ-マ用薬液塗布器に係る。

なお，符号18は前記第1キャップ10に形成された小筒9の内周部11と回動かつ相摺動する外周部である。また，第2キャップ17における2つの切欠部12，12との外周の間に円形等の突起19を少なくとも2個設けておくと，前記第1キャップ10と前記第2キャップ17を組立て

た時、パチッと音がして、該組立てを完了する。前記突起19を設ける理由は、第2キャップ17を回動(増動)させる時、前記突起19を基準に前記両キャップの位置ずれ防止および嵌抜防止して薬液の漏洩を防止する作用効果を有するものである。前記突起19の形状を円形に固執することなく、例えば帯状突起(図示省略)としてもよいことはいうまでもない。

また、前記広口穴付突起15の内孔にフェルトまたはスポンジ等の多孔性物質16を設ける場合、本考案の「充填」なる用語は、前記内孔から外部へ一定の厚さを有する前記多孔性物質を円形状またはその他の所望形状に嵌挿もしくは嵌装する場合も含むものとする。この場合、接着剤等を用いて前記内孔に前記多孔性物質を固着してもよい。前記のように構成した本考案の塗布器を使用する際は、第2図のように薬液の入った容器4、第1キャップ10、および第2キャップ17の3つを第3図のように組み立てた後、適宜傾斜させながら、容器4の側部を矢印方向に握って1点鎖線

のように圧縮し、そのパーマ用薬液を矢印方向まで送り、かつ多孔性物質16によって流量を制限すると共に、多孔性物質16の全面に順次均一に拡散(吸收、浸透)し、適量ずつ均一に流出せしめ、これをパーマのかかっていむい例えは頭髪の根本部に塗布するものである。

次に頭髪の根本以外の個所に塗布する場合は、第3図に示す第2キャップ17のみを例えば180度に回転して、第1キャップおよび第2キャップに形成された部分的な切欠部8と部分的な切欠部12ヒを一致させると第4図のようになり、その作用効果は第3図とほぼ同様であるがしかし、
使用(塗布)位置を変えることができる。
(3) 17
加熱

なお、部分的な堰(せき)7は、薬液が同時に外部に流出しないよう、必ず一方にのみ流出するように設けられたものである。

また、前記フェルトまたはスポンジ等の多孔性物質16は、使用薬液の濃度と流出量を考慮して、その多孔度(メッシュ)を適宜選択することができる。このように、本考案の塗布器の特徴は、

従来の先細穴付突起①④と新規なる広口穴付突起②⑤に充填されたフ"ラシの代用をなす多孔性物質③⑥とのうまい具合の組み合わせとしたから、一つの塗布器で二つの用途(手段)と二つの作用効果を有し、かつ操作が容易で、実用的効果大である。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来のコールドペーマ用薬液塗布器の一部を断面とした分解斜視図、第2図ないし第4図は本考案のコールドペーマ用薬液塗布器の一実施例で、第2図は分解縦断面図、第3図は第2図の組立縦断面図、第4図は第3図の変形(回転、摺動)例の縦断面図である。

符号の説明

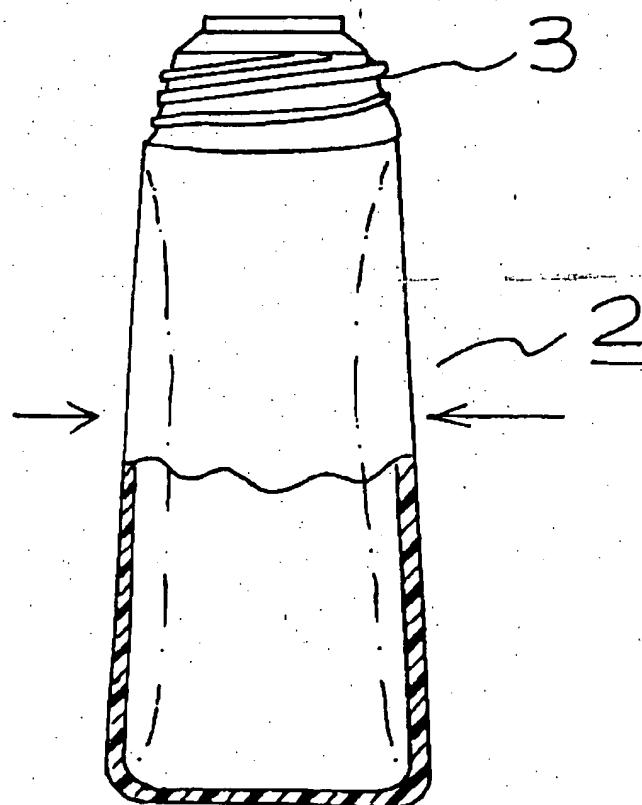
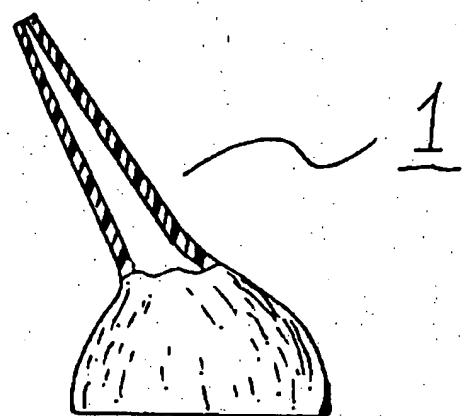
- 1... 先細穴付突起付キャップ
- 2... ネジ付可撓性容器
- 3... ネジ
- 4... 合成樹脂製等の可撓性容器
- 5... 口縁部
- 6... 大筒

7. 壁(せき)
8, 12. 切欠部
9. 小筒
10. 篦(キヤツ)フ[。]
11. 内周部
13. 回摺動筒
14. 先細穴付突起
15. 広口穴付突起
16. フェルトまたはスポンジ等の多孔性物質
17. 第2キャップ[。]
18. 第1キャップ[。] 10に形成された小筒9の内周部11と回転かつ相摺動する外周部
19. 円形等の突起(第1キャップ[。] 10と第2キャップ[。] 17の位置ずれ防止用および嵌抜防止用突起)

实用新案登録出願人 加藤裕三

公開実用 昭和59— 193163

第一 図

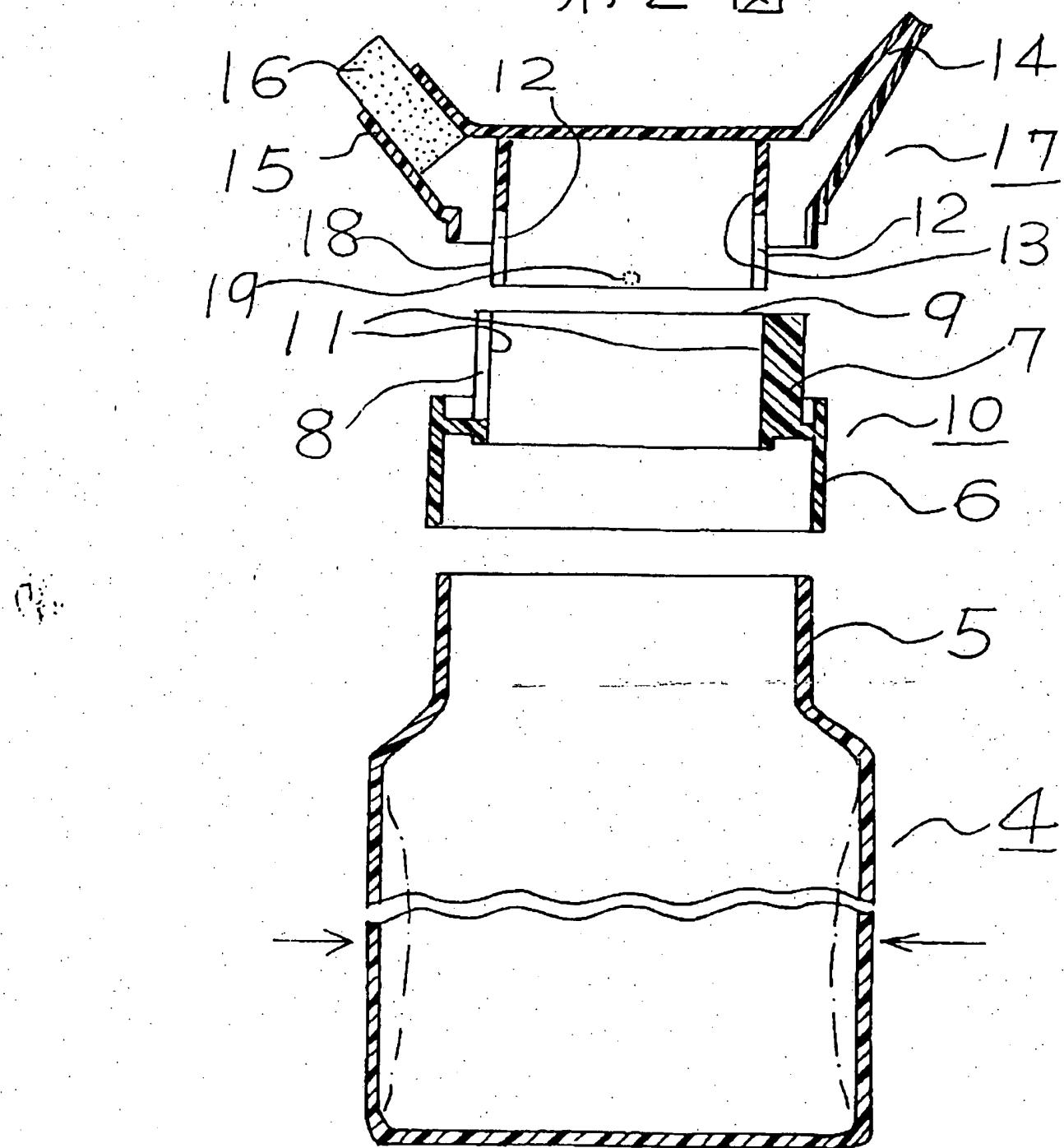


628

实用新案登録出願人 加藤裕三

実用59-193163

第2図

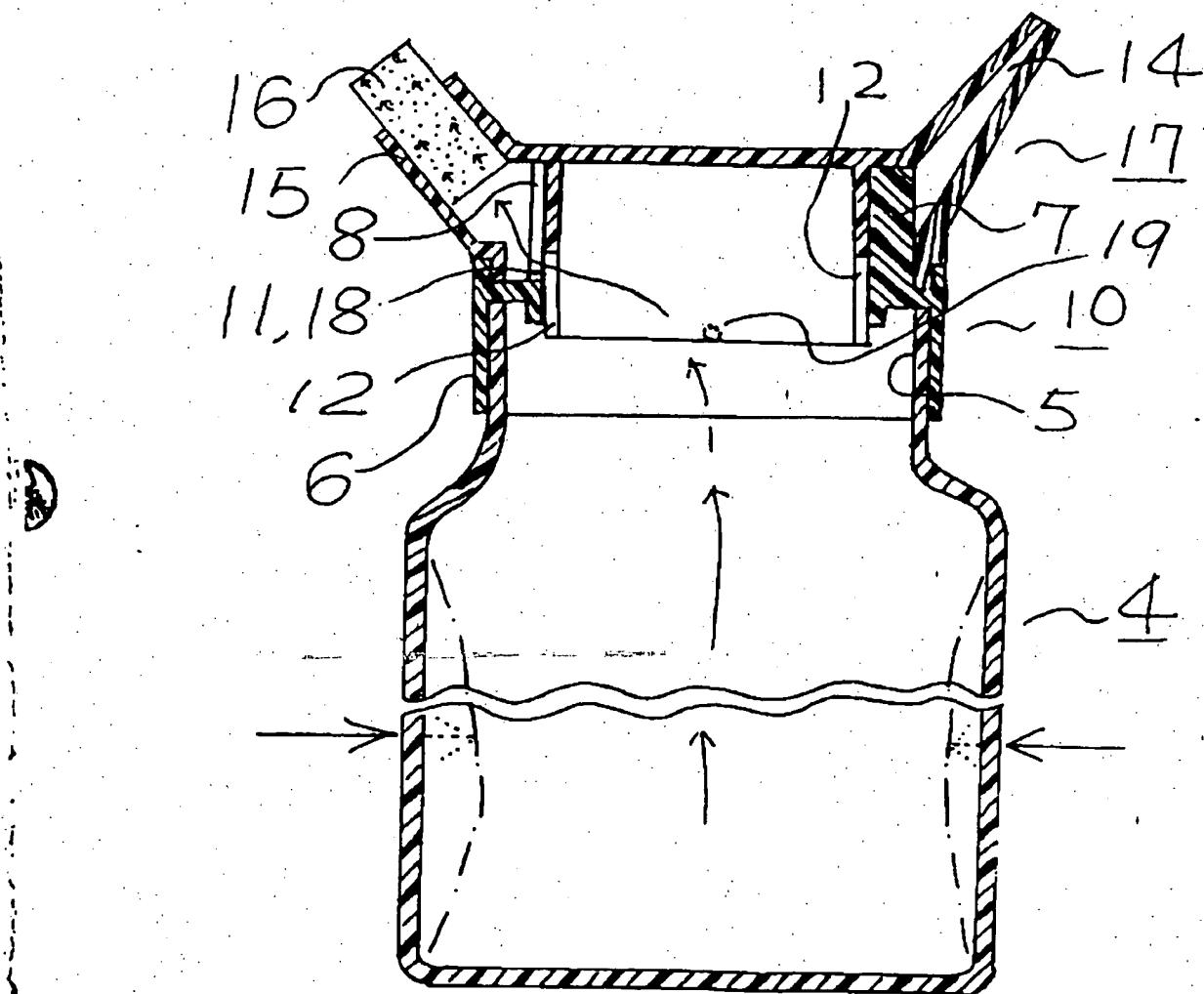


629

公開実用 昭和59-

193163

第3回



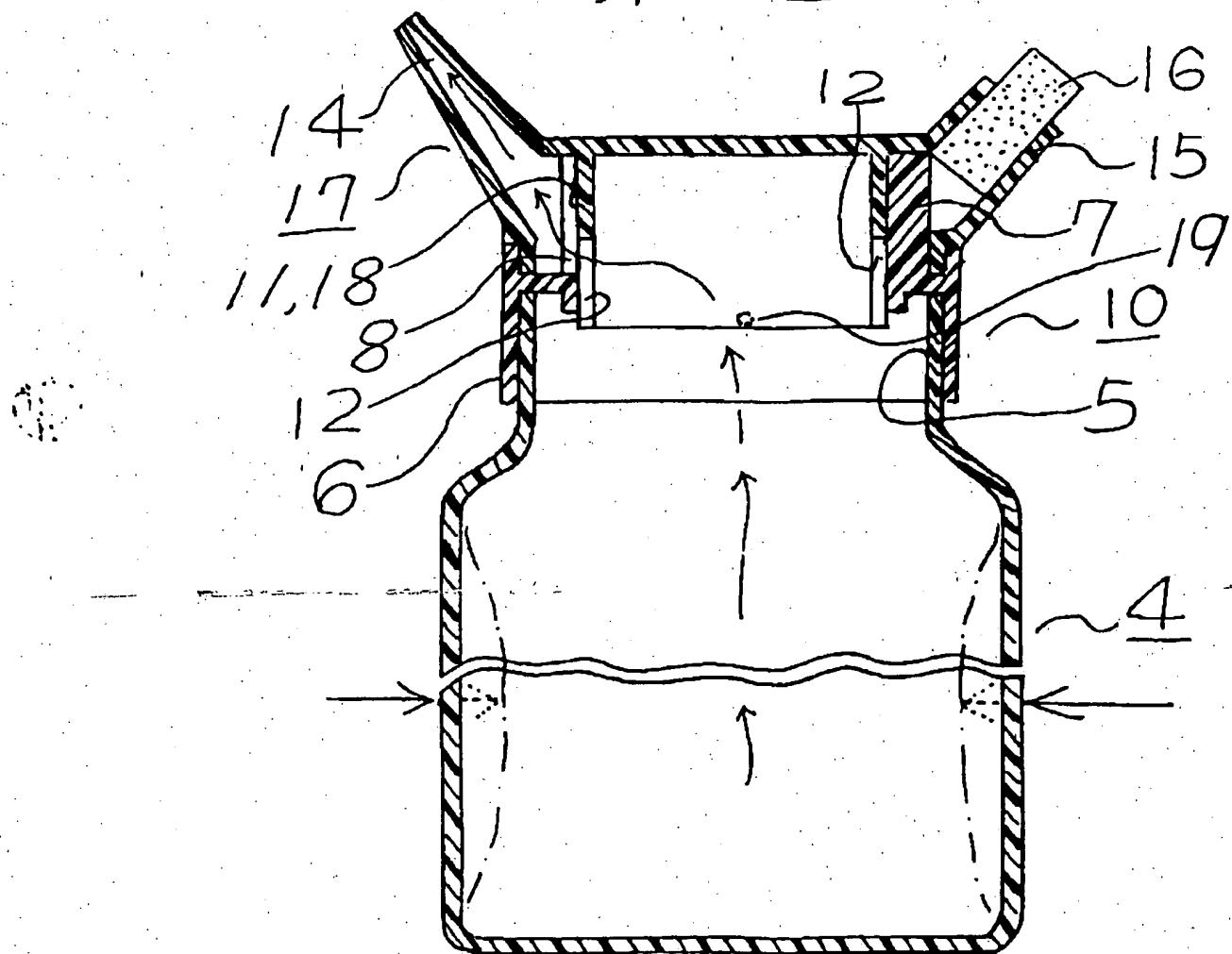
630

実用新案登録出願人

加藤裕三

昭和59-193163

第4図



631

实用新案登録出願人 加藤裕三
実開59-193163

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.